

Coff.に対する巨匠たちの理解(抜粋)

◆全体＝敏感さ・感覚鋭敏とそれに伴う興奮と不眠

ケント

「このレメディは全身の敏感さが特徴である。視覚、聴覚、嗅覚、触覚、痛みへの敏感さがあり、この敏感さに非常に驚くことだろう。特に騒音で痛みが悪化する。聴覚の感度が非常に高いため、音が痛く感じる。頭痛、歯痛、下肢の痛み、あらゆる痛みの患部が音で悪化する。」

ナッシュ

「全ての感覚が鋭敏である。細かい活字をたやすく読むことができる。心身ともに異常に活発で、アイデアが豊富で、すぐに行動ができる。それゆえに眠れないほどである。」

クラーク

「Coff.の大きな特徴は、感覚の高揚と敏感さである。視力が改善し、匂いの感覚が高まる。感覚が高まるため、どんな痛みにも耐えられない。精神活動も高揚し、突然の感情、特に喜びが危険な症状を引き起こす。」

ヴィソルカス

「Cocc.の様に、Coff.も不眠の悪影響から示唆されるレメディである。しかしこの2つには際立った違いがある。Cocc.がスローダウンしているのに対し、Coff.は加速している。神経系は速く働き、肉体的な感覚は素早く行き渡る。考え・感情・行動もしかりで「素早い」がCoff.である。」

◆頭部の問題＝神経の興奮と脳血管への影響

ファリントン

「精神の興奮状態により脳血管の充満を引き起こしている場合、脳卒中の鬱血がCoff.で治療する可能性がある。」

ケント

「頭部の熱感、紅潮した顔、キラキラ輝く目は、脳卒中の恐れがある。患者の頭の中で「音」が鳴り響き、轟音が聞こえると言うかもしれない。後頭部にひび割れる音や泡立つ音が聞こえる。頭の衝動の独特の感覚を耳鳴りや音と間違えている。脳の表面が強く押されるような頭の痛み、これは鬱血から来る圧迫である。」

「ルーティンの処方者は、頸動脈がドクドクして熱い顔をしている子供にBell.を投与する。それが作用しない場合、再びBell.を投与し、子供がブルーピングするまで投与量が増え続ける。Coff.で治ったであろうに、子供をBell.状態にしてしまう。Bell.が示唆されるのは、鈍くてボウっとして眠たい子供である。Coff.の子は興奮して、母親には訳が分からないのを見たり聞いたり、いろんなことを想像する。」※Coff.の子は全く眠たくない！」